

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50							
授業科目名 <英訳>		ILASセミナー：発達心理学 ILAS Seminar :Developmental Psychology			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 大倉 得史		
群	少人数群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人		配当学年	1 回生		対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	共北12				使用言語	日本語	
キーワード	発達心理学 / 自己分析 / 青年期 / ディスカッション								
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)									
[授業の概要・目的]									
受講生自身の自己分析と他者との語り合い、および発表と討論を通して、青年期の人格形成と心の動きを具体的に明らかにしていく。									
[到達目標]									
自己分析を通して、自分の中のかすかな感覚や無意識的な心の動きに気づき、自分を大切にできるようになる。									
[授業計画と内容]									
0. 自己分析の方法論 (第1回) 1. アイスブレイキング (第2回) 2. 青年期における基本的対人態度 (第3～5回) 3. 青年期における親 (家族) との関係 (第6～8回) 4. 青年期における友人関係(第9～11回) 5. 青年期における愛と性愛 (第12～14回) 6. フィードバック (第15回)									
[履修要件]									
「発達心理学基礎ゼミナール」との連続履修を推奨する。									
[成績評価の方法・観点]									
各回の自己分析内容と討論への参加度、およびレポートによって評価する。詳しくは授業中に説明する。									
[教科書]									
使用しない									
[参考書等]									
(参考書) 大倉得史『拡散 diffusion ～「アイデンティティ」をめぐり、僕達は今～』 (ミネルヴァ書房) E.H. エリクソン『アイデンティティとライフサイクル』 (誠信書房) 西平直『魂のアイデンティティ』 (金子書房) 河合隼雄『大人になることの難しさ』 (岩波書店) 新宮一成『夢分析』 (岩波新書) S.フロイト『夢解釈 I・II』 (岩波書店)									
[授業外学修 (予習・復習) 等]									
夢を記録し、自己分析すること。									
----- ILASセミナー：発達心理学(2)へ続く↓↓↓									

ILASセミナー：発達心理学(2)

青年期に関する文献を集めておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

- ・自己分析のワーク中心の授業となる。自分自身と向き合い、自分の内面を他者に伝えるという作業ができるかどうか、よく検討してから受講すること。
- ・初回の授業でエントリーシートの記入や授業の進め方の解説など、非常に重要な作業を行うので必ず出席すること（抽選に通っていても初回に欠席した場合、特段の事情がない限り受講は認めない）。